

## 第62回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年8月9日（火）17：00～18：30

2. 会場：原則WEB参加

3. 委員（敬称略 五十音順）

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 池田 一義  | 一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長      |
| 岡部 信彦  | 川崎市健康安全研究所 所長             |
| 金井 忠男  | 埼玉県医師会 会長                 |
| 川名 明彦  | 防衛医科大学校 教授                |
| 近藤 嘉   | 日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長       |
| 坂木 晴世  | 国際医療福祉大学大学院 准教授           |
| 讚井 將満  | 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長 |
| 竹田 晋浩  | かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長        |
| 松田 久美子 | 埼玉県看護協会 会長                |
| 光武 耕太郎 | 埼玉医科大学国際医療センター 教授         |

4. 県側参加者

|       |           |
|-------|-----------|
| 大野 元裕 | 知事        |
| 高田 直芳 | 教育長       |
| 三須 康男 | 危機管理防災部長  |
| 岸田 正寿 | 福祉部 副部長   |
| 山崎 達也 | 保健医療部長    |
| 星 永進  | 保健医療部 参事  |
| 本多 麻夫 | 保健医療部 参事  |
| 板東 博之 | 産業労働部長    |
| 岸本 剛  | 衛生研究所 副所長 |

## 5. 主な意見

### ア 現状の分析・評価について

- 今の時期がピークだとすると2週間後ぐらいに重症者数や入院患者のピークになってくる可能性があるので注意が必要である。（岡部委員、竹田委員）
- 入院患者の調整について、1つの医療機関に集中しない形で調整をお願いしたい。（竹田委員）

#### 【県の対応】

- 1つの施設に負担がかからないように調整を行っていく。

### イ 病床の確保について

- 重症病床確保については、現状で確保されている病床を活用すれば問題ない。2、3週間の間、十分にモニタリングを行ったほうが良い。（竹田委員、讃井委員）

#### 【県の対応】

- 病床使用率に応じて、対応を行っていく。

### ウ 早期退院の判断の目安4日間の周知徹底について

- 病床ひっ迫回避のため、重点的に進めていく取組のうち、早期退院の判断の目安4日間の周知徹底については、現状では徹底されていない。早期退院患者を受け入れる医療機関に、過度に心配することなく対応が可能ということが浸透すればよいと思う。（光武委員）
- 後方支援医療機関の拡大については、医師会としても説明会を行い、理解を深めていきたい。（金井委員）

#### 【県の対応】

- 医療機関への働きかけについて引き続き取り組んでいく。